

風なぎ
の
うつわ

三
管
修
陶
展

十一月二日（土）～十二日（火）
会期中無休



料金後納
ゆうメール

三 笥 修 陶 展 風 の う つ わ

2013年11月2日(土)～12日(火) 会期中無休

営業時間 11:00～18:00 作家在廊日 11月2日(土)

三笥修さんは、大分県の山間にある静かな村で器を作っています。三笥さんの器の印象は、とても静か。まるで風いだ海に浮かぶ小舟のように静かに佇んでいます。その理由は三笥さんの器の作り方にあります。スライスした粘土を型に押し当てて、べちべちと叩いて形を作っていく方法です。ろくろ挽きのように動的な流れを出すのではなく、動きを止めて内へ内へ向かって作り込んでいます。さらに三笥さんのこつこつとした器づくりの姿勢も、その静かさに繋がっているように思います。周辺で調達できる粘土や釉薬となる木灰を地道に使い、自分らしい器にしていきます。決して欲張らず派手な方には向かいません。毎日毎日の畑仕事や家事と同じように、こつこつとです。そんな三笥さんの器を、今回は「風のうつわ」と表してみました。動きを抑えた器は、まるで風も波も止まった海面のように物静かです。しかし海に深い深い底があるように、その器にも思慮深い奥行きを感じるのです。秋も盛りを迎え、やがて冬の準備もはじまる頃。どうぞ器を手に包んで、その深遠な世界を感じてみてください。うつわノート店主

三 笥 修 プロフィール

1973年 大分県生まれ
1996年 東京学芸大卒業
1997年 陶芸家・寄神宗美氏に師事。京都、信楽にて陶芸を学ぶ
2001年 愛知県常滑市にて独立
2007年 大分県日田市に移住
2013年 現在、大分県日田市にて製作

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6

TEL 049-298-8715

MAIL utsuwanote@gmail.com



- 電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分、本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
- バス：川越駅東口3番乗り場 [小江戸名所めぐり]乗車～[喜多院前]下車
- 車：専用駐車場有 (25～28番)



表面：黄石粘土瓶と薬白線文煎茶碗
裏面：錆粘大壺